



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む水田農家の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

適正な茎数を確保出来たら中干しを実施しましょう！

田植え時から水を張っている水田に、酸素を供給しましょう！

適正な茎数が確保できたら中干しを開始！本格的な梅雨に入る前に始めることが大切です！！

中干しを行うメリット

- ・ 土中に酸素を供給することで、根張りを良くします！
- ・ 稲への窒素供給を抑え、過剰分げつを防止する！
⇒過剰分げつは倒伏や下葉枯れ、品質の低下につながります。
- ・ 梅雨前に田面を固めることで、梅雨時期の水はけを良くします！
- ・ 中干しで田面を乾燥させることで、収穫の際のコンバイン作業の省力化！



中干し開始時期の目安

- ・ 分げつした茎数を数えて中干しを開始しましょう。

茎数20本/株

を目安にスタート！



早い



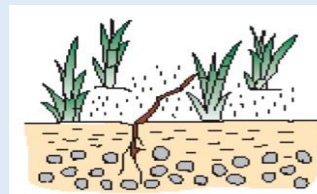
中干し適期



遅い

中干しの程度の目安

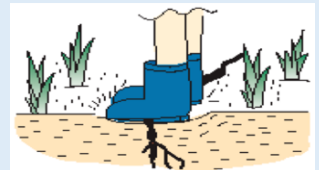
乾きやすい圃場（砂質）



弱いヒビが
入ればOK

乾きにくい圃場（粘土質）

足が少し
沈む程度の
強いヒビが
入ればOK



中干し後の水管理

中干し後は『間断かん水』とし、
根に新鮮な水と空気を交互に供給しましょう！

【間断かん水(例)】

| | |
|---------|-------------|
| 乾きやすいほ場 | 1日湛水→2～3日落水 |
| 乾きにくいほ場 | 1日湛水→4～5日落水 |

幼穂形成期前には、中干しを終了し、**必ず入水を開始してください。**